

患者氏名：

経過 (日付)	入院前 (外来)	入院日	手術前日	手術当日(手術時間：～：予定)		術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目【退院予定日】	退院後 初回受診時
	月 日			月 日	月 日						
到達目標	入院の目的が理解できる。	入院後のスケジュールがわかる。	手術の準備(必要書類の提出、必要物品の準備)ができる。 不明な点を医師や看護師に質問できる。	絶飲食を守ることができる。 朝の薬の内服時間・種類を守ることができる。 手術までに家族が病室待機できる。	麻酔から覚めることができる。 安静を守ることができる。 体についている管やコードをひっぱったりしない。 痛いときに我慢せず看護師に伝えることができる。	酸素ありで呼吸困難の自覚がない。 痰の出しにくさがない。 痛みが我慢できる範囲である。 病室内を歩くことができる。 食事を5割以上摂ることができる。 水分摂取もできないほどの嘔気がない。	酸素なしで呼吸困難の自覚がない。 痛みが我慢できる範囲である。 車椅子でレントゲンに行くことができる。	歩行をしても呼吸困難の自覚がない。 歩行距離が伸びる。 手術前と同じ日常生活行動がとれる。		【退院の目的】 胸の管が抜ける。 38度以上の発熱がない。 傷に異常がない。 痛みが日常生活(食事・睡眠・シャワー浴など)において支障がない程度である。	
治療・処置	お薬を飲まれている方はお薬手帳を確認させていただきます。 医師から中止と言われた薬は内服しないでください。※必要な方のみ	現在服用中の薬を提出してください。(中止している薬も提出してください。) グラグラしている歯や抜けた歯があれば、歯科受診を行っていただきます。	医師が手術部位の印をつけます。 手術部位の毛を剃ります。 手術に必要な物品をそろえておいてください。 21時に下剤を飲みます。	手術までに排便のない方は洗腸をします。 午後からの手術の場合は10時から点滴をします。 手術室から連絡がありましたら、手術専用の寝巻に着替えて、手術室へ行きます。 手術室では義歯やアクセサリー類は身に付けることができません。 化粧やマニキュアの除去をお願いします。 ご希望があれば手術室でお好きな音楽を流すことができます。 服用薬のある方は医師の指示に従ってください。	翌朝まで点滴が続きます。 手術中に管が胸に入ります。 酸素吸入や心電図などを装着します。 血栓予防の機械を両足に装着します。	屋食が半分以上摂取できれば持続点滴は終了予定です。 必要な方は痛み止めを使用します。 服用薬は再開の指示があるまで飲まないでください。	胸の管はレントゲンの状態や術後の経過を見て医師が抜きます。			傷に糸がある場合、糸抜きは術後7日目以降に行いません。 糸抜きは外来で行いません。	
検査	術前検査(採血・尿検査・レントゲン・心電図・肺機能検査など)があります。	医師の指示があれば採血やレントゲンがあります。				採血があります。 お部屋でレントゲンをとります。	採血があります。 レントゲンをとります。		採血やレントゲンなどの検査があります。		
安静		特に制限はありませんが、歩行の際は転倒などに注意してください。	病棟内で過ごしください。	ベッド上安静です。 1人では起き上がらないようにしてください。 寝返りは看護師の介助で行います。		病室内安静です。 回復のために、できるだけ体を起こしておきましょう。	レントゲンの結果が良ければ病棟内歩行の許可が得られます。 胸に管が入っている間は、室外に出るときは看護師を呼んでください。 胸の管が抜ければ安静の制限はありません。		安静の制限はありません。		
食事	栄養機能食品(インパクト)の指示があれば、手術2日前まで(6日間)飲用してください。	特に制限はありません。 医師の指示で治療食が必要な場合はお伝えします。	夕食まで食事ができます。 水分摂取は麻酔科医師の指示に従ってください。	絶飲食で開始の時間を守ってください。		医師の許可があれば水分摂取開始となります。 昼から食事が再開となります。 昼:5分粥食、夜:全粥食			治療食以外の方は、特に制限はありません。術前の食事が出ます。		
排泄			病棟内または室内トイレをご利用ください。	手術中に尿の管が入ります。 排便は寝たままベッド上で行いません。		尿管が抜ければ、トイレに移動して排泄できます。 初めての排泄は看護師を呼んでください。 尿の量をみます。	酸素や胸の管がある場合は、トイレへの移動の際は、必ず看護師を呼んでください。		病棟内または室内トイレをご利用ください。 歩行に不安を感じた時は看護師を呼んでください。		
清潔			手術前日はシャワー浴を行ってください。		麻酔が覚めたら看護師がうがいのお手伝いをします。 温かいタオルで顔を拭くお手伝いをします。	看護師がうがい、洗面、体拭き、着替えを手伝います。	胸の管が抜ければ、シャワー浴のみ可能となります。 胸の管の跡は管が抜けて48時間以内は防水が必要となります。以降は、防水は必要ありません。 シャワー浴後は傷の周囲を乾いたタオルで軽く拭いて乾かしてください。 入浴許可は糸抜き後外来にてあります。				
説明	呼吸器外科医師の診察および手術説明があります。 ・看護師から手術前説明があります。 ・入院担当事務から入院手続きに関する説明があります。 ・術前外来受診があります。 (麻酔科医師の診察・看護師より入院前生活情報についての聞き取りなどがあります。)*※場合によっては入院後に受診となります。 ・術前歯科受診があります。※必要の方のみ ・看護師から腹式呼吸練習の説明があります。(コーチ2使用)	外来でお渡しした書類を病棟看護師へ提出してください。 病棟看護師が、病棟内の説明を行います。 医師からの手術説明はご家族の方も一緒に聞かしてください。	希望があれば手術室の看護師がお部屋へ訪問します。	家族の方は手術開始予定の2時間前から手術終了まで病室で待機してください。(朝8時半・9時・10時の手術の方は朝8時に病棟へお越し下さい。)	家族へ医師から手術結果について説明があります。 ご本人への説明は麻酔が覚めてから行います。 術後はナースステーション近くの個室へ入室する場合があります。	看護師から胸の管の注意事項について再度説明があります。			退院後の生活について看護師から説明があります。 退院は午前11時になります。 午後からの退院希望の方は事前にお知らせください。 創部の防水テープは次回外来日までにははがさないように願います。 そのほかのテープははがしても大丈夫です。		

☆☆退院後日後の退院後日初回以外に異常な受診を感じたら受診日をお待ちください。

※この表は入院～退院までのプランを一覧にしたものです。□  
※状況に応じて予定が変更になる場合があります。ご不明な点がありましたらいつでもお尋ねください。